

③文化財の保存・活用

◆現状と課題

能代市には、市所在指定文化財が94件、登録文化財が6件ありますが、次世代へ保存、継承すべき貴重な歴史資料はまだ眠っており、掘り起こし作業が必要となっています。

文化財に興味・関心のある市民が階層的に限定され、文化財保護への市民意識が希薄になりつつあり、文化財に対する意識の高揚を図るための施策を講ずる必要があります。

また、歴史的・文化的に貴重な資料が多くありますが、個人所有が多いことから散逸・劣化が危惧されています。しかし、能代市には空調設備を備えた収蔵施設がなく、機能を備えた施設が望まれています。

市の財政状況が厳しくなり、史跡・文化財の保存、活用、整備に関する事業が停滞している現状があり、大きな課題となっています。

重点目標	施策の方向性
1. 文化財の調査・保護・活用の強化を図る。	檜山安東氏城館跡保存管理事業を推進する。
	天然記念物や遺跡等指定文化財の保護・保存に努める。
2. 文化財に関する愛護意識を高揚する学習機会と場の充実を図る。	歴史と文化市民意識高揚事業（歴史探訪会、歴史ガイド養成講座等）
3. 各地域の歴史文化の理解を深めるため、歴史講座や歴史探訪会の内容の充実を図る。	を推進する。
4. 文化財や歴史資料等を保管し、文化情報の発信基地として収蔵と展示の機能を持った施設の設置推進を図る。	（仮称）歴史民俗資料館や収蔵施設の設置を検討する。